

# 報告

## 第30回北海道医療・福祉関係 職能団体等懇談会

常任理事・医療関連事業部長 藤井 美穂

1月24日(金)午後6時から札幌市において、医療・福祉関係職能団体等懇談会が開催され、30団体、63名にご参集いただいた。

長瀬会長より「高齢化社会が進んでいる中で、大切になってくるのが地域包括ケアである。今日お集まりいただいている約30の団体がそれぞれに事業を展開していれば良いという問題ではなく、各団体が協力していかなければ問題を解決していくことはできない。そのためにも今日のような各団体が集まる貴重な機会を活かし、コミュニケーションをとっていけばと考えている」と挨拶があった。

その後、北海道医療ソーシャルワーカー協会の関会長が「地域包括ケア推進のための病院－ケアマネ連携」をテーマに、北海道歯科医師会の榊原理事が「がん患者の口腔管理に関する医科歯科医療連携事業について」をテーマにそれぞれ話題提供を行った。最後に、北海道柔道整復師会の加藤副会長より、「地域包括ケアシステム構築へ向けて」協力依頼があった。



会場風景



### ■話題提供

#### (1) 「地域包括ケア推進のための病院－ケアマネ連携」 北海道医療ソーシャルワーカー協会：関会長

ソーシャルワーカーは、医療機関の中で社会復帰を目指している患者を援助しており、ケアマネと連携をとる機会が多い。ケアマネからは、退院前に医療機関から連絡がないという意見を多く聞くの



で、2012年12月1日から12月31日の1ヵ月間の調査期間で、北海道内すべての居宅介護支援事業所および地域包括支援センターを対象に退院時連絡に関する全道調査を行った。医療機関から退院した患者のうち、介護サービスを受ける患者の約4割がケアマネへの連絡がされていなかった。医療と介護のシームレスな流れの起点である連絡率向上は、抽象的な「地域包括ケア実現」への具体的な進捗を計る指標であると考えている。

ケアマネの悩みとしては、相談しづらい病院がある、突然退院してくる、病院ごとに連絡の時期や手続きが異なるといったことなどが挙げられていた。退院連絡の漏れは、すべての退院患者がソーシャルワーカーや連携室を通じて退院する訳ではないこと、入院時にケアマネから連絡がないこと、院内と地域全体の「退院時調整ルール」がないことが原因と考えられる。

対策としては、すべての退院患者にソーシャルワーカーや連携室が関わり、院内や地域で対象患者の基準を定め、ケアマネへの連絡方法とタイミングなどのルールを決めることが有効である。退院調整ルールの作成にあたっては、医療機関側では二次医療圏全体の医療機関の地域ルールの合意を得られるか、院内の連絡ルールを徹底できるか、医師の了解を得られるか、ケアマネ側では病院からのすべての連絡に事業所が対応できるか、地域ルールに対するケアマネ全体の合意を得られるかが課題である。

医療機関とケアマネの両者を調整する保健所による積極的なコーディネートが不可欠であり、当会も会員が所属する機関の機能強化と地域課題の解決を支援していく。

(2) 「がん患者の口腔管理に関する

医科歯科医療連携事業について」

北海道歯科医師会：榊原理事

北海道歯科医師会は、がん患者の口腔管理をがん治療の支持療法として、治療の一環に組み入れ、がん患者の口腔問題を地域で支える仕組みを作りたいと考えている。



北海道がん診療連携

協議会と北海道歯科医師会では、北海道のがん患者の口腔衛生状態の向上を通じて、がん治療口腔合併症の予防・軽減を図りがん患者が安心して歯科治療を受けることができる地域医療連携ネットワークを構築することを目的に、がん患者の口腔管理に関する医科歯科医療連携事業を行っている。現在の指定協力歯科医療機関は、道内227施設である。

口腔は全身疾患との関連性が強く、抗がん剤での治療患者が口腔内副作用を起こす確率は40%、骨髄移植を受ける患者は75%、頭頸部がんの放射線治療患者は100%である。がん治療において口腔関連の有害事象は、手術の場合は、歯の損傷や口腔粘膜損傷、創部感染、嚥下障害などがあり、化学療法の場合では、口腔粘膜炎や味覚障害、知覚過敏症など、放射線療法の場合は、放射線性皮膚炎や開口障害などがある。そのため、がん治療においての口腔管理は大切であり、口腔管理は手術合併症発生率の軽減、在院日数の短縮、歯科疾患の悪化を抑制する。がん治療においては、医師と看護師だけでなく、口腔外科医やケアマネ、ソーシャルワーカーなどのチーム医療がとても大切になる。

■協力依頼

(3) 「地域包括ケアシステム構築へ向けて」

北海道柔道整復師会：加藤副会長

当会は、道内開業柔道整復師965名を擁する道内唯一の公益法人で、地域医師会の先生を中心とした他職種協働にかかわり、地域包括ケアシステム構築に取り組んでいきたいと考えている。



当会としては、医療の必要な患者へ積極的に受診勧奨を行い、生活に困難が生じている方を発見した場合、虐待の恐れがある場合、認知症・うつ状態などが疑われる場合は速やかに地域包括支援センターへ報告することとしている。今後とも、ご理解とご協力をお願いしたい。



今回は『北海道看護協会・北海道助産師会・日本精神科看護技術協会北海道支部』のグループと『北海道理学療法士会・全国病院理学療法協会北海道支部・北海道作業療法士会・北海道言語聴覚士会』のグループが話題提供担当である。

少子・超高齢社会を迎えた今日、医療・福祉関係ならびに歯科系に関わる職能団体との連携は必要不可欠である。本懇談会を通して、各団体間の連携を深めることで北海道の医療ならびに福祉の発展につなげていきたい。



懇親会風景

出席者名簿

平成26年1月24日（金）

団体名	役職名	氏名	団体名	役職名	氏名	団体名	役職名	氏名	団体名	役職名	氏名
北海道看護協会	会長	平山 妙子	北海道ホームヘルプサービス協議会	副会長	力徳キヨ子	北海道臨床工学士会	事務局長	大宮 裕樹	北海道歯科技工士会	会長	杉岡 範明
北海道助産師会	会長	高室 典子	北海道介護支援専門員協会	事務局長	鈴木久美香	日本義肢協会北海道支部	支部長	安田 義幸	北海道歯科衛生士会	専務理事	扇 照幾
日本精神科看護技術協会北海道支部	支部会長	大友 洋恵	北海道栄養士会	副会長	渡邊 由果	北海道消化器内視鏡技師会	副支部長	相馬 充晴	北海道医師会	副会長	小山田貴子
北海道理学療法士会	事務局長	平 信二	北海道柔道整復師会	常務理事	鈴木 敬子	北海道診療情報管理研究会	会長	山口 謙二		専務理事	木本恵美子
北海道作業療法士会	事務局長次長	上山 敏文	北海道鍼灸師会	会長	萩原 正和	北海道精神保健福祉士協会	副会長	土田 徹		会長	長瀬 清
全国病院理学療法協会北海道支部	会長	太田 誠	北海道鍼灸マッサージ師会	副会長	加藤 隆	北海道医療ソーシャルワーカー協会	事務局長	佐藤 貴幸		副会長	深澤 雅則
北海道介護福祉士会	事務局長	柿澤 雅史	北海道放射線技師会	会長	大湊隆次郎	北海道臨床心理士会	会長	中村 博彦		副会長	藤原 秀俊
北海道社会福祉士会	会長	清水 兼悦	北海道細胞検査士会	副会長	星野 喜一	北海道臨床歯科医師会	幹事	海老名春代		副会長	小熊 豊
北海道介護福祉士会	副会長	吉岡 英章	北海道臨床衛生検査技師会	副会長	水上 弘祥		副会長	佐藤 志津		常任理事	藤井 美穂
北海道薬剤師会	会長	有澤 賢二		保険局長	福良 均		会長	関 建久		常任理事	伊藤 利道
北海道病院薬剤師会	副会長	木藤 博之		会長	板東 道夫		副会長	星野由利子		事務局長	安達 督
北海道社会福祉士会	副会長	有澤 賢二		副会長	石岡 亮		会長	河合 祐子		事業第五課長	若松 淳一
北海道介護福祉士会	事務局長次長	木藤 博之		副会長	中村 厚志		副会長	谷中みゆき		事業第五課長補佐	小林 淳子
	事務局長	羽山 政弘		会長	中村 厚志		理事	榊原 典幸		事業第五課主事	中橋 絵巳
				副会長	野崎 正行		理事	田西 享		事業第五課主事補	小山内智章
				常務理事	藤澤 真一		事務局	高橋 博明			